

主催 義経と静の会
後援
鎌倉市教育委員会、
鎌倉世界遺産登録推進協議会

日本の心「海ゆかば」

講演コンサート

日本の心を、
武家の古都・鎌倉
から発信

コンサート
日本の心を歌う

歌 青木由有子
(リラ自然音楽歌手)

講演
日本の心を語る

講師 小野寺 功
(清泉女子大学名誉教授)

8月16日(日)

午後1時～3時40分

(開場12時30分)



舞 月読かぐや

笛 水元 若

会場 きらら鎌倉ホール (鎌倉生涯学習センター) JR 鎌倉駅東口前徒歩2分 (鎌倉郵便局隣り)

前売 チケット 1,000円 (全席自由 250席)

チケット販売開始 7月2日(木) 午前10時より

- 電話かFAXでの購入申込みして下さい 電話 0467-24-6564 FAX 0467-23-8742
(氏名、〒住所、電話番号をお知らせ下さい。折返し郵便振替用紙を郵送しますので、ご送金下さい)
- チケット販売所もあります 「義経と静の会」「松林堂書店」「島森書店鎌倉店」「たらば書房」

お問い合わせ

0467-24-6564 義経と静の会

〒248-0014 神奈川県鎌倉市由比ガ浜4-4-11 (リラ自然音楽研究所内)

〈定休日〉7月8日(水)、14日(火)、15日(水)、22日(水)、28日(火)、29日(水)、8月5日(水)、11日(火)、12日(水)

日本の心「海ゆかば」

講演コンサート

コンサート

〈日本の歌〉

1. 花 (歌唱)
2. 荒城の月 (歌唱)
3. 夏の思い出 (歌唱)
4. 原体剣舞連 (群読)

〈自然音楽〉

5. 鎌倉の風 (歌唱・舞)
6. 地球の目覚め (歌唱)
7. 野苺 (歌唱)
8. しづやしづ (歌唱・舞)

〈古い日本人の心の歌〉

9. 海ゆかば (歌唱)
10. 飛鳥の歌 (歌唱・舞)

〈新曲〉

11. 桜散るころ (歌唱)

プロフィール

〈青木由有子〉

リラ自然音楽歌手、作詞・作曲家として、独特の清らかな音楽の世界を作り出している。1995年より一貫して自然音楽を、傷ついた人と植物、動物の幸せと平和を願い歌い続けている。長年地元の緑を守る歌声運動にも取り組んでいる。CDアルバム22枚、著書「妖精の庭から」。

〈月読かぐや〉

神おろしの舞と言われる「自然音楽かぐや舞」を創始。振付け、演じ、指導もしている。幽遠優美の日本のことだま舞を目指している。

講演

小野寺教授の最近のエッセー等から抜粋

● 私は最初西洋哲学研究をめざしたが満足せず、西田・田辺ら日本近代の哲学を、日本的靈性の自覚の論理として促えつつ、(後略)

● 作家宮沢賢治と哲学者西田幾多郎、禅思想家鈴木大拙は他の日本の知識人とは違って、共に「靈性」に立脚する「いのちの思想家」である。

● 戦後民主主義教育で一番欠落していたのは「良心」であるが、その真の大地である靈性(いのち)の教育が無視され、忘却され、及び腰である。

特定の宗教やイデオロギーではなく、宗教に通じ、しかも特定の宗教を意味しない人間的な「靈性」の立場から、日本の宗教・道徳教育を再検討し、その方法化を試みる必要があると思う。

これは教育に限らず、医療や環境問題、政治・経済のあらゆる領域に波及していくべきことは、当然予想される。この意味でも21世紀は、靈性時代のとば口に立っているといえる。

〈小野寺 功〉プロフィール

一九二九年岩手県生まれ。上智大学大学院哲学研究科修了。清泉女子大学名誉教授。おもな著書『大地の哲学』三一書房、『大地の神学―聖霊論』行路社、共著『キリスト教は仏教に何を学べるか』法蔵館、『評論 賢治・幾多郎・大拙―大地の文学』春風社、『絶対無と神―京都学派の哲学』春風社、『聖霊の神学』春風社。

海ゆかば、山ゆかば、自然と一つになって生きましょう。自然を大切にしましょう。それが古来からの日本人の生き方です。そこから、地球も人も大切にする愛の心が生まれてきます。私達はもう一度、日本人が古来からもっている美しい心を取り戻し、それを世界へ伝えていきましょう。

日本の心を歌う 青木由有子 (リラ自然音楽歌手)

日本の心を語る 小野寺 功 (清泉女子大学名誉教授)

日本人がもう一度「海ゆかば」を歌い始める時、地球に新しい時代が来るでしょう。かつて、大君とは日本国の天皇一人でしたが、今や、それは地球さん、宇宙そのもの、もしくはすべての人の胸の奥にある大君(愛の心)ではないでしょうか。

海行かば 水漬く屍
山行かば 草生す屍
大君の辺にこそ死なめ
顧みはせじ

『万葉集』大伴家持

皆で歌おう、自然の歌を、日本の心を。もう一度皆で聞きましょう、古来からの日本人の生き方や物の考え方を。

小野寺功教授は、戦後自ら生きる根拠を求めて深く出あった宮沢賢治、鈴木大拙、西田幾多郎などの「生命の思想家」を手がかりに、日本の心の詩と真実を明らかにし、きっと今後の進むべき方向と指針を考えさせて下さることでしょう。